

シャープ株式会社 亀山工場（三重県亀山市）**に関する近況（2025 年末時点）を整理。
主要な動きは **工場・資産の売却・再編と新たな取り組み** に集約されています。

- [DIGITIMES Asia](#)
 - [TBS NEWS DIG](#)
 - [東洋経済オンライン](#)
 - [DIGITIMES Asia](#)
-

❶ 1. 亀山工場の売却・再編（液晶関連事業の縮小）

■ 第2工場の譲渡・売却

- ◆ シャープは「亀山工場 第2工場」（液晶パネル生産拠点）を台湾・鴻海（Hon Hai / Foxconn）傘下に譲渡する計画で進めています。譲渡完了は **2026年8月まで** を予定しています。（[Nippon](#)）
👉 これは、かつて「世界の亀山モデル」として世界的に知られた液晶工場の象徴的な方針転換です。（[Nippon](#)）

■ 亀山北工場の売却

- ◆ 亀山工場の別施設である **亀山北工場**（センサー部品等の拠点）は、2025年8月に自動車部品試作・開発会社のトピア（Topia）に **約12億円で売却** されました。譲渡は2025年9月25日付です。（[ASCII.jp](#)）
-

❷ 2. シャープの全体戦略と亀山工場の位置付け

- ◆ シャープの経営は **アセットライト戦略（固定資産の効率化）** を進めており、亀山工場を含む大型ディスプレイ事業の見直しが一環です。（[東洋経済オンライン](#)）
 - ◆ かつて主力だったテレビ向け大型液晶事業はすでに縮小・終了しており、亀山の役割も変遷しています。（[関西テレビ放送 カンテレ](#)）
-

❸ 3. 今後の活用・新しい取り組み

- #### ■ 産業用途・自動化技術の導入
- ◆ 亀山工場は **半導体後工程の自動化研究（SATAS のパイロットライン）** の拠点として選定され、

検証ラインの環境整備が始まり、**2027年度中の稼働**を見込む動きがあります。（[EE Times Japan](#)）

➡ これは液晶製造とは別の先端分野での利用可能性を強めています。

■ FoxconnによるAIサーバ関連展開

- ◆ 鴻海（Foxconn）は、譲渡予定の第2工場を **AIサーバ製造拠点や自動車向け事業の拡充** 地として活用する計画を報じられています。（[DIGITIMES Asia](#)）

● 4. シャープ全体としての方針

- ✓ シャープは中期経営計画において、ディスプレイ事業を整理しつつ、
 - 車載用 LCD、XR 用途、高付加価値ディスプレイへのシフト
 - 他社からのパネル購入による調達モデルへの転換
 - などに取り組んでいます。（[シャープグローバル](#)）
-

◆ まとめ（2025 年末時点）

- ◆ 亀山工場の液晶第 2 工場は鴻海へ譲渡予定（2026 年 8 月まで）
 - ◆ 亀山北工場は 2025 年に売却済み
 - ◆ 亀山第 1 工場は車載・産業用途など高付加価値分野へ重点化
 - ◆ SATAS の自動化ラインなど新たな技術用途での活用も進行中
- シャープ亀山工場は、従来の液晶大量生産から脱却しつつ 新事業・再編への転換期 にあります。
-